学校だより
津久戸
令和８年１０月３１日
１１月号　新宿区立津久戸小学校

千住博さんに学ぶ

校長　本間　基史

先日、日本を代表する画家の千住博さんに５年生が講堂で授業をしていただきました。千住さんは美術界のオリンピックと呼ばれている国際展ヴェネツィア・ビエンナーレで東洋人として初めて名誉賞を受賞した世界的な評価を得ている方です。授業は和紙をしわくちゃに丸めて、できた皺から何が見えてくるか自由に発想して、絵の具で描くという題材でした。立体にしてもよし、半立体でも平面でもよし、自分で思いついたものなら何を描いてもよいというものでした。子供たちは自由に発想して、山肌を表したり、海に見立てたり、花に見立てたり、滝を描いたりと全員が違うものを描きました。千住さんは、「一人一人表現が違うのが当たり前、自由に思ったことを表現できるのが絵の魅力です。そして、自分で描くだけではなく、友達の表現も観てみよう。違いを感じてください。そうすれば、友達の良さや個性に気づくでしょう。みんな違うということが分かれば、仲間はずれやいじめもなくなりますよ。」とても大切なことを教えてくださいました。全員に腰をかがめて、アドバイスや作品の感想を伝えてくださいました。子供たちにとって貴重な体験となりました。因みに油絵画家として著名な絹谷幸二さんにも以前、ご指導いただきました。お二人の作品が奉納されているのは奈良県の興福寺とお二人の色紙が揃っている津久戸小学校だけです。千住さんとは、美術が多文化共生の要となり、コミュニケーション能力を育成すると個人的にもたくさん、お話せていただきました。是非、自然光あふれる素敵な空間の「軽井沢千住博美術館」訪ねてみてください。

女神湖移動教室を終えて

５年担任

９月30日から10月２日までの３日間、長野県にある女神湖移動教室へ行ってきました。天候に恵まれ最高の三日間を過ごすことができました。

１日目は長野県の名物「ほうとう」作りをしました。麺は粉から打ち、野菜は一つ一つ切り上げました。ゆであがったほうとうを食べた際には「美味しい」「初めて食べれて良かった」と歓声が上がりました。

２日目は牧場に行き、トラクター体験、マスつかみ、飯盒ＢＢＱに挑戦しました。トラクター体験やマスつかみでは子供たちは大興奮しながら長野の自然を満喫しました。ＢＢＱでは自分で捕まえた魚や、牧場直送のお肉を頂きました。自分たちの力で火をおこし、協力してご飯を炊き上げみんなで食べた昼食は格別だったようです。

３日目はハイキングに行きました。歩きなれない山道の中、弱音を漏らしつつも諦めることなく最後まで歩ききることができました。そして、山頂の絶景を全員で拝み大自然を肌に感じ締めくくることができました。

この三日間、「自立」「協力」「礼儀」をキーワードに様々なことに挑戦し、乗り越えることができました。この経験を今後にも生かしていきたいと思います。

保護者の皆さま、出発までの準備やお子さんの体調管理に努めてくださり、ありがとうございました。今後も、５年生の活動にご協力をお願いいたします。

ふれあい月間・「いじめ」について

生活指導主任

運動会や学芸会など、子供たちが活躍する行事が続く時期となりました。友達と力を合わせて目標に向かう楽しさを感じる児童がいる一方で、いつもと違う日課や集団行動に、強い不安やプレッシャーを抱えている児童も少なくありません。行事の練習が進むにつれ、熱が入るあまり友達を責めてしまったり、からかってしまったりと、ささいな言葉のすれ違いやトラブルが起きやすいのもこの時期の特徴です。本校では１１月を「ふれあい月間」とし、児童へのアンケートや個別面談を通して、子供たちの小さなサインや表情の変化に丁寧に耳を傾けています。得意なことや苦手なこと、

感じ方は一人ひとり異なります。お互いの「ちがい」を認め合い、誰もが安心して自分の力を発揮できるよう、いじめやからかいを決して許さない指導を徹底してまいります。　行事の時期は心身ともに疲れが出やすく、ご家庭でも口数が減ったり、朝の行き渋りが見られたりすることがあります。どんな些細なことでも構いませんので、気になる様子がございましたら、いつでも担任や学校へご相談ください。